

ゆめ・まち・みらい vol.38

阪急阪神ホールディングスグループ社会貢献活動

「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」グループ従業員向け情報誌 [2018年夏号(年4回発行)]



ぜひご家庭でも
お読みください

夢を力に変える人 No.11

こどもが病気になっても 多様な働き方を 選べる社会を めざして

認定NPO法人 ノーベル

●阪急阪神
未来のゆめ・まち基金
助成対象団体レポート

●第9回市民団体助成報告会
参加者募集

●グループ従業員の
ボランティア活動レポート



ソーシャルグッズ
読者プレゼント

詳しくは
裏表紙へ



阪急阪神ホールディングス グループ



こちら事務局

皆さまの募金を市民団体にお届けしました！ 「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」2017年度収支報告

基金設立から9年目となる2017年度は、阪急阪神沿線の市民団体14団体に、総額450万円の助成金(阪急阪神ホールディングスからの同額上乗せを合わせて900万円)をお届けしました。皆さまの募金が増えれば、多くの市民団体に助成できますので、今後ご協力お願いいたします！

2017年度 収支報告 (2017年4月1日～2018年3月31日)

2016年度末残高	2,938,059円
収入総額	5,109,521円
支出総額	4,500,000円
2017年度末残高	3,547,580円

info



●阪急阪神 未来のゆめ・まち基金とは●

グループ従業員から寄付をつのり、会社とともに、地域の市民団体を応援する制度です。1口89円からご参加いただけます。皆さまのご参加お待ちしております！詳しくは、プロジェクトHPの従業員向け申請書ダウンロードページをご覧ください。

8月7日(鼻の日)、赤い鼻をつけて笑顔を贈り合おう！ RED NOSE DAY with クリニクラウン&ゆめ・まちソーシャルラボ

RED NOSE DAYとは、8月7日(鼻の日)に、笑顔のシンボルである赤い鼻をつけて、笑顔を贈り合い、笑顔の輪を広げていこう!というキャンペーン。長期療養のこども達に笑顔を届ける活動をしている日本クリニクラウン協会とゆめ・まちソーシャルラボのコラボイベントにぜひ、ご参加ください。



■親子で笑顔を贈り合うワークショップ～レッドノーズや帽子をつくってクラウンに変身しよう～
日時：8月6日(月) ①11:00～ ②13:30～ ③15:00～
場所：阪急西宮ガーデンズ5階阪急西宮ギャラリー内「スタジモにしのみや」

親子でレッドノーズや帽子をつくりクリニクラウンに変身!血回しなどに挑戦しませんか。また同時に写真展も開催! クリニクラウンの活動を見て、知ってください。
参加費：無料 参加申し込みフォーム：http://stajimo.jp/?page_id=8674
定員：各回親子20名(保護者同伴必須・先着順)

■クラウンと触れ合える駅イベント
日時：8月7日(火) 14:30～17:00 場所：阪急西宮北口駅構内 カリヨン広場

西宮北口駅にクリニクラウンが登場し、身近な人に笑顔を贈る大切さを呼びかけます。個性豊かなクリニクラウンに会いに来てください!

●認定NPO法人 日本クリニクラウン協会とは●



クリニクラウンとはクリニック(病院)を舞台に活動するクラウン(道化師)のこと。入院中のこども達を訪ねて、コミカルなやり取りや遊びなど普段の闘病生活とは違った時間をプレゼントする笑顔のプロフェッショナルです。約1年の研修を受け、協会による認定試験をパスしたクリニクラウンを年間、全国47ヶ所の病院に派遣しています。

ソーシャルグッズ
読者プレゼント



5名様に
プレゼント

Bee Eco Wrap (みつろう
蜜蝋ラップ)



オーストラリアで
手づくりされています!

繰り返し使える、
布製のエコなラップ

カラフルな色合いとポップな柄が可愛い「蜜蝋ラップ」。オーガニックコットンに抗菌作用のある蜜蝋やホホバ油、木の樹脂などの天然素材を染み込ませてつくられています。手で温めると、やわらかくなり、どんな形にもフィット。冷やせば固まるのでコップやお皿を覆ったり、フルーツやパン、おにぎりなどを包んで保存できます。丁寧に手入れすれば、1～2年使えます。冷蔵庫やキッチンをオシャレに彩りながら、エコな生活をしませんか?

価格/Mサイズ・1,296円(税込)
販売/Bee Eco Wrap Japan
URL/http://beecowraps.jp/
※どのカラーが届くかはお楽しみ

ご希望の方は下記事務局までメールでお申込みください。メール件名を「蜜蝋ラップ希望」とし、本文に「氏名」「所属会社・部署名」「送付先の住所・電話番号」「ゆめ・まち・みらいの感想」を明記してください。

応募締切:2018年8月31日(金)

編集後記

こんにちは!新メンバーの中野恵里香です。ゆめ・まち・みらいの担当となりました!社会貢献活動についてはまだまだ勉強中ですが、皆さまに社会貢献の取組みに興味を持ってもらえるようがんばります☆(中野恵里香)



はじめまして!新メンバーの福田です。9月に第9回市民団体助成報告会を開催します。助成金の報告や助成対象団体による活動紹介、終了後は交流会もありますので、ぜひご参加ください!(福田和弘)



阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局

(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)
shakai@hankyu-hanshin.co.jp
TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174
URL: http://www.hankyu-hanshin.co.jp/yume-machi/
※グループ従業員向けページの「ユーザー名」、「パスワード」は8984です。



「阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト」とは「未来にわたり住みたいまち」づくりをめざし、「環境づくり」と「人づくり」の分野で、グループ各社の社会貢献活動の推進、市民団体の支援、従業員のボランティア活動の応援の3つに取り組む当社グループの社会貢献活動です。

阪急阪神 ゆめ・まち

検索

夢を力に変える人 No.11



認定NPO法人 ノーベル

こどもが病気になっても多様な働き方を選べる社会をめざして

こどもが発熱した。でも仕事に行かなくてはならない。さあ、どうしよう…。
大阪で訪問型病児保育事業を展開する「認定NPO法人 ノーベル」は
そんな働く親の悩みに応える「駆け込み寺」的な存在である。

①保育スタッフは保育士、看護師、子育て経験者。1～2か月の研修を受けて現場へ出る。②代表理事の高亜希さん。ノーベル立ち上げ時は未婚だったが2017年にご自身も出産。「自分が親になって、子育てをしながら働ける幸せを、あらためて実感しています」③病気のこどもを預ける親の不安を解消するため、保育中のこどもの様子を会員専用サイトで見るができるサービスも。きめ細やかに利用者に寄り添うのがノーベルの魅力。④「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」の助成金は、スタッフの採用や育成に使いたい…と高さん。「団体の基礎を支えるために使える資金なので、本当にありがたく思っています」



⑤大阪市きらめき企業賞、Googleインパクトチャレンジ「みんなのグランプリ賞」などを受賞。斬新なアイデアと社会貢献性が広く認められている。高さんはまた、多くのNPO団体と連携して「コレクティブフォーチャルドレン」という団体も設立。「0歳から20歳までのこども達を社会全体で切れ目なく支援することを目的としています」⑥ノーベルを利用した親御さんやこども達から届いた手紙。⑦こどもの病気への対応ノウハウをまとめた小冊子「働く!!おかん図鑑」を2012年に制作。⑧「働く!!おかん図鑑」をはじめ、さまざまな広報ツールはプロのクリエイターの協力で作成。キャッチーなデザインが目を引く。



高

調の悪いこどもを移動させる必要がない。また1対1なのでインフルエンザやノロウイルスでも大丈夫…など。毎日の利用者数が読めない病児保育で、これだけのサービスが可能な理由は「会員制」にしたことが大きい。利用するしないにかかわらず月会費を払うシステムだ。「みんなで支え合って病児保育費をまかないましよう、という共済型です。今では会員は累計で約1500名となり、入会規制を行うほどです。立ち上げ当初は会員が増えなくて苦労しましたが、口コミでだんだん広がっていきました」と高さん。「最近気づいたのは、訪問型病児保育は母親だけでなく、こどもの幸せにもつながるんだってこと。利用した会員さんにアンケートを必ずいただくのですがこどもがノーベルを大好き」という声が多いんです。訓練を積んだ保育スタッフがつきつきりで1日、一緒に過ごしてくれるのが嬉しいのですね」

さんによれば、現状の課題は大きく2つ。「1つはスタッフの確保です。こどもの命を預かるスタッフは独自の研修プログラムによって、十分な時間をかけて育成しています。現在は40名ほどいますが、それでも足りません。担い手不足のため入会希望者を多く待たせてしまっており、どう対応するかを考えなければなりません」

2つめはフاندレージング。これは、NPOが行う資金調達のことだ。きつかけ



認定NPO法人 ノーベル

一人親家庭にノーベルのサービスを格安で提供する「ひとり親バック」。このプロジェクトを寄付で支えるサポーターを募集しています。詳しくはウェブサイト「寄付で応援したい」ページまで。

〒540-0026
大阪市中央区内本町2-4-12
中央内本町ビルディング701
TEL : 06-6940-4130

URL : <http://nponobel.jp/>

「私達はビジネスではなく社会課題を解決するために活動している」と高さんは明言する。「だから行政と連携したり、社会をより良くする活動を行える、NPO法人を選ばれました。一個人の気づきが、社会に変革をもたらせることを証明したいのです」。実際に大阪市の淀川区や西区では、区民がノーベルを格安で利用できる委託事業が始まった。社会は多様な働き方に合わせて、変わりつつある。

「ノーベルの病児保育は、利用者の立場に徹底して寄り添っていることが特長だ。例えば、当日朝8時までの連絡なら100%預かってもらえる。保育スタッフが自宅を訪れる訪問型なので、体

「こどもの病気は常に突発的だ。熱が37.5℃を超えると保育園では預かってくれず、登園していてもお迎え要請の電話がかかってくる。急なので誰にも頼めず母親が仕事を休むことになり、最終的には、退職せざるを得ないケースも多い。」「私が以前、勤めていた企業でもそうでした」と頷くのは認定NPO法人ノーベルの代表理事、高亜希さん。「先輩や友達が、子育てを理由にどんどん辞めていく。こどもが病気になったときに預ける先がないというのです。何とかしなければと思いました」

多くの人は社会のあり方に疑問を持って、もなかなか自分で解決することは難しいとあきらめてしまふ。しかし、高さんはすぐに行動を起こした。「調べるとわかってきたのは、病児保育施設はあっても圧倒的に数が少なかったり、当日の予約に対応していなかったり。病気のこどもを施設まで連れて行くのも大変です。そんな中で、東京に訪問型病児保育を行っている団体があると知り、そこで修業させてもらおうお願いをしたんです」。高さんはそこで2009年、大阪に戻ってNPO法人ノーベルを立ち上げた。

series
89

正しく、かしこい消費者になるために 自分で選ぶ! 自分で学ぶ!



環境マークなどについても、ゲーム感覚で楽しみながらみんなで考える。

NPO法人 C・キッズ・ネットワーク

T E L : 0798-31-2189
E-mail : ckids.net@gmail.com
U R L : http://ckids.web.fc2.com/
事務所 : 西宮市

「おやつを食べるときはどんなものを選んだらいい?」、「限られたおこづかいをうまくやりくりするコツは?」。私達は、生まれてから死ぬまで「消費者」として生活するにもかかわらず、こうした「お金との向き合い方」については、学校でも社会でもなかなか教わる機会を持たない。消費者教育がまだ注目されていない当時、毎日の生活に必要な「かしこい消費者になる知識」を自分達の手で少しでも、子ども達に伝えたい。「NPO法人 C・キッズ・ネットワーク」は、消費生活アドバイザーの資格を持つ3人の母親達のそんな思い

から立ち上げられた。小・中学校での出前講座を中心に、地域のイベントなどで対象者に合わせたオリジナルの教育プログラムを実施。取り扱うテーマも食育から環境まで幅広い。手づくりの教材を使用した「参加型」の講座は、どれも楽しく分かりやすいと好評だ。身近にある多様な商品やサービスを、いかにうまく選択し、使いこなすか。すべての人が消費者として、合理的で豊かな消費生活を送ることに子どものうちから興味を持ってもらえるよう、消費者教育のパイオニア的存在として精力的に活動を行っている。

series
90

みんなが、自分らしく生きられる! 大切なのは、人との「交わり」

「日本のこどもの7人に1人が貧困」。そんな数字に違和感を覚える人もいるかもしれない。だが、貧困には「絶対的貧困」と「相対的貧困」、二つの定義がある。前者は生きるために最低限必要な衣食住が満ち足りていない状態。後者は地域や時代などによって差があるが、経済的理由により高校へ進学できない、塾や予備校に行かせてもらえない、休みに旅行に行けない…などの状態をいい、日本では圧倒的にこちらが多数だ。

こうした家庭状況にかかわらず、地域に住むすべての子ども達がその子らしくいられるように、生活・学習・余暇の支援を行っているのが「NPO法人 山科醍醐こどものひろば」。自治体や行政などと連携・協力し合って、地域ぐるみで子ども達の育成に取り組んでおり、イベントや野外活動の実施、不登校児童への家庭訪問による対応など、その活動は年々拡張している。こどもを取り巻く環境は千差万別、そしてそれぞれに原因も解決策も異なる。より多くのこども達が健やかなこども時代を過ごせるよう、地域が一体となって絆を深めている。

共に育とう、 友と育とう。

野外活動などを通じて、好奇心や集団行動の大切さを学び、自己肯定感を育てる。



NPO法人 山科醍醐こどものひろば

T E L : 075-591-0877
E-mail : kodohiro@gmail.com
U R L : http://www.kodohiro.com/
事務所 : 京都市

series
87

一人ぼっちじゃないよ! 互いに絆を結び合える、つながりの社会

一人暮らしの高齢者や障がい者、共働き家庭のこども、引きこもりの若者など、地域における社会的孤立は、大きな問題になっている。辛い気持ちを一人で抱えるすべての人が、誰かにSOSを発信でき、互いに支え・支えられる…。そんな「つながりのあるまちづくり」をめざすのが、「一般社団法人 タウンスペースWAKWAK」だ。

活動は、こども達を対象とした学習支援や、こども食堂の運営、障がいのあるなしにかかわらず参加できるボーダレスアート教室、誰でも気軽に集えるコミュニティスペースづくりなど多彩で幅広いが、特徴的なのは、まちが抱える問題に対し、こどもを含めた住民全体を巻き込んで改善に取り組んでいる点。特に2016～17年にかけて展開した『ただいま～といえる子どもの居場所づくり事業』は、NHK全国放送で紹介され、大きな反響を呼んだ。

「自分はここにいていいんだ」、「誰かに必要とされている」。一人ひとりがそんな自信と元気を持てるよう、まち全体がつながり合える地域を育てている。

こども達への学習支援などを通じて安心して居場所づくりをすすめている。

わくわく町民増加中。



一般社団法人 タウンスペースWAKWAK

T E L : 072-693-9005
E-mail : jinken@ba.wakwak.com
U R L : https://wak2.jimdo.com/
事務所 : 高槻市

series
88

生まれた場所が違って み～んなおんなじ“芦屋っ子”!

コトバの壁も ココロの壁も こえて。



日本語の支援をはじめ、外国にルーツを持つこども達が日本社会で住みやすい環境づくりをめざしている。

こくさいひろば芦屋

T E L : 0797-32-6163
E-mail : kokusaihirobaashiya@gmail.com
U R L : https://kokusaihirobaashiya.jimdo.com/
事務所 : 芦屋市

「外国にルーツを持つこども」にとって、教育における大きな課題のひとつが進学率の低さだ。日本語がわからないために小・中学校での勉強について行けず、高校進学率は日本人よりかなり低く、大学進学率はさらに少ない。また、言葉が通じないために孤独を感じ、不登校になってしまうケースもある。芦屋市にも現在1,500人以上の外国人が暮らしている。そうした問題に対し、こども達に学習支援や進路相談を実施しているのが「こくさ

いひろば芦屋」。日本語教室・日本語による学習教室の運営や、日本語能力試験など各種資格取得をサポートするほか、夏祭りなどの地域活動に積極的に参加。コミュニケーションの場を通して、すべてのこども達が多様性を認め合い、「共生できる環境づくり」をめざす。スタッフには当事者である外国人もスタッフに入り、共に地域や社会をつくり上げる「仲間」として協働し、多様性に富んだ「ひろば」をつくっている。

グループ従業員の ボランティア活動レポート

従業員・OBの皆さまの参加するボランティア団体に、阪急阪神ホールディングスが上限3万円を支援する「ゆめ・まち「ええこと」応援団」。昨年度の支援先と、参加従業員・OBの方のコメントをご紹介します。

2018年度
vol.2

初申請の3名を
ピックアップ!!



支援金でマーカーやビブスなどの
サッカー用品を購入しました。

紀見北ジュニア
サッカークラブ/橋本市

阪急阪神ホテルズ
真田昌佳さん

サッカーを通して、自立
心や感謝の気持ちを持
つ子どもを育成する
団体です。

蛭池ライガース
/豊中市

阪急電鉄
廣瀬修さん

少年野球で健全な青
少年を育成。支援金
により、大会参加費の
負担を軽減しました。



チームの活動縮小の危機
を回避できました。

フォルテFC/豊中市

阪急田園バス 倉内光一さん

豊中市を中心に活動する小学生のサッカーチームです。

西之町地車同好会/芦屋市

阪急阪神ホールディングス 天井規雄さん

「西之町地車祭」復活をめざし結成した団体です。

大阪赤十字安全事業指導奉仕団/大阪市

中央電設 小西修一さん

「水上安全法講習」用のスイミングキャップを購入!

東Genkix (ヒガシ・ゲンキックス)/茨木市

阪急電鉄 佐々木孝治さん

キックベースボールを通じて人を思いやる心を育てます。



ガッツクラブ/神戸市

阪急阪神ビルマネジメント 原祐一さん

子ども達と一緒に夢を追う喜びを
日々感じています。

ガッツクラブは全国制覇をめざし、練習に打ち込む小学生ドッジボールチーム。試合に勝つことはもちろんですが、マナーや協調性など内面の育成を重んじ、細やかに指導しています。自主的に動く姿勢や周囲への気づかいを見せてくれたときなど、成長を嬉しく感じますね。最近では、野球やサッカーなどに人気の流れ、ドッジボール選手の人口が減っている状況。今後は、多くの子ども達に活動を通してドッジボールの魅力を発信したいと考えています。



2018年3月、全国
優勝の夢をかなえ
ることができました!

神田ジュニアバレーボールクラブ/池田市

阪急阪神不動産 大熊勝さん

支援金でボールを購入でき、子ども達も大喜び!

ボーイスカウト八尾第7団/八尾市

阪急阪神ホールディングス 仲田義弘さん

支援金で備品倉庫をレンタル、会員の負担が軽減。

玉櫛スラッガースポーツ少年団/茨木市

阪急電鉄 竹田健二さん

野球を通じ、活力に満ちた個性豊かな子ども達を育成。

市民団体の活動参加のススメ

File 27 オーガニックなそばを食する会

自然豊かな環境の棚田で、無農薬、有機肥料のみで育てた玄蕎麦を手動石臼と電動石臼で製粉し、挽きたてを打ちます。団体の畑でできた作物や野草の天ぷらと共に楽しく食していただきます。ほかにも蕎麦粉を使った料理教室も楽しめます。

日時: 2018/9/23(日・祝) 10:00~14:00

場所: 京都府宇治市東笠取別所出14
オーガニック土の塾 東笠取農場ハウス(車両のみ)

参加方法: 下記の電話又はメールにてご予約ください。

参加費: 一人2,000円 小学生以下無料 ※エプロン持参



お問合せ先: NPO法人オーガニック土の塾

TEL: 090-7491-5504 E-mail: organic.tuti@gmail.com

URL: http://www.organic-tuti.org/

File 28 大阪YMCAインターナショナル・チャリティーラン2018 ランナー募集

障がいのある子ども達を応援するイベント。障がいのある人もない人も共に走ることで、障がいのある子ども達が幸せに生きていくための理解と共感の輪を広げています。参加費は全国のYMCAが展開する障がい児プログラムに充当されます。ぜひ、一緒に走ってみませんか。

日時: 2018/9/24(月・祝) 9:00~13:00

場所: 花博記念公園鶴見緑地特設コース

参加方法: HPまたは事務局窓口までご確認ください。

参加費: 3,000円~(種目によって異なります。詳細は事務局窓口まで)



お問合せ先: 公益財団法人 大阪YMCA チャリティーラン事務局(田宮 芳光)

TEL: 06-6441-0894 E-mail: chari-run@osakaymca.org

URL: http://www.osakaymca.or.jp/

参加者募集

皆さまからの募金はこんな活動に役立っています!

「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」

第9回 市民団体助成報告会



従業員の皆さまからの募金と、阪急阪神ホールディングスからの同額上乗せ寄付によって、沿線の市民団体を応援する「阪急阪神 未来のゆめ・まち基金」。
第9回の助成対象団体が、活動内容・助成金の使い道・熱い思いなどを語る「助成報告会」を開催します。ぜひ、ご参加ください。

こちらも
ぜひご参加ください。

参加者には
社会貢献ポイント
5pt進呈

内容

- 事務局から第9回助成金についての報告(約10分)
- 助成対象団体による活動紹介(約10分×7団体)
- 交流会(報告会終了後30分程度)

日時会場

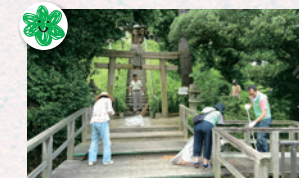
定員: 各回先着50名様

※当日は名刺・社員証など、お名前の分かるものをお持ちください。

第1回

9月11日(火)
16:30~18:00

阪神電気鉄道本社ビル
10Fホール



御願塚史跡保存会(伊丹市)
地域の古墳の保存継承・環境
保全



フィールドサイエティ(京都市)
大文字山麓における環境学習
活動



団楽長屋プロジェクト(豊中市)
多世代でつながる子育て空間
づくり



NPO法人 C・キッズ・
ネットワーク(西宮市)
こどもの消費者教育・啓発活動



公益社団法人 子ども情報研
究センター(大阪市)
こどもの電話相談・面接相談



NPO法人 ダウン症ファミリー
総合支援めばえ21(箕面市)
ダウン症児・者とその家族への支援



一般社団法人 new-look
(西宮市)
高校中退者の社会復帰支援

第2回

9月14日(金)
18:30~20:00

阪急電鉄本社ビル
1Fエコルテホール



NPO法人 スマイルひろば(尼崎市)
多世代交流のできる笑顔あふ
れるまちづくり



一般社団法人 タウンスペース
WAKWAK(高槻市)
地域のみんなで支え合うまちづくり



NPO法人 すいた体験活動
クラブ(吹田市)
学校での体験型環境学習支援



こくさいひろば芦屋(芦屋市)
外国にルーツを持つ子どもへの
学習支援



NPO法人 山科醍醐
こどものひろば(京都市)
地域で子ども達と考える居場所づくり



NPO法人 子どもデザイン教室(大阪市)
自己肯定感の向上を図るデザ
イン教育



認定NPO法人 ノーベル
(大阪市)
関西初の訪問型病児保育

参加申込 問合せ

メール又はFAXに、①参加日 ②所属会社・部署名 ③氏名(フリガナ) ④電話番号
⑤交流会の参加希望の有無 ⑥従業員又はOBの区分を明記し、下記事務局までお送りください。

阪急阪神 未来のゆめ・まちプロジェクト事務局(阪急阪神ホールディングス 人事総務室 総務部 社会貢献担当)
E-mail: shakai@hankyu-hanshin.co.jp TEL: 06-6373-5086 FAX: 06-6373-5174